

総括

2022年のコロナ禍明け以来、紙飛行機教室の講師派遣要請は激減しています。教室開催への問合せは年間10件近くありましたが、費用や時期、対象、教室環境などの制約で開催には至りませんでした。また、これまでオープン参加の紙飛行機イベントを開催していた東京臨海広域防災公園・そなエリア東京では、主管する国土交通省の指導により防災目的以外での施設利用はできない事になりました。従いまして、原っぱだけでの予選会イベントのみを継続開催することになりました。

1. 東京臨海広域防災公園・そなエリア東京での紙飛行機イベント

第30回二宮康明杯全日本紙飛行機選手権大会 有明地区予選会 4/6, 5/18, 6/22, 7/13

そなエリア東京での紙飛行機イベントはこの有明地区予選会だけの開催になりました。予選会は屋外での滞空時間競技であり、その成績は天候に大きく左右されますが、何とか計画した4回を開催できました。会場は海に近いためにやや強めの風が常に吹いています。しかし、参加した選手たちは風に負けないで、暑さにも負けないで自己記録の更新に頑張っていました。NPO紙飛行機サイエンスは予選会運営を支援しています。



第30回二宮康明杯全日本紙飛行機選手権大会 決勝大会 9/22-23

決勝大会は札幌にある屋内総合スポーツ施設・つどームで開催されました。当NPOスタッフは遠征参加しませんが、2024年3月からの紙飛行機イベントのほとんどに参加してくれた安西泰一くん(小4)がジュニア部門の規定11で見事に優勝しました。更に規定13では第3位でした。室内でのフライトを冷静に競技し、その見事さは参加した大人達からも絶賛されたとのこと。また、規定11の優勝タイムは120秒と大人の部の第5位に相当する高記録でした。同君は2026年の大会でも連覇すべく頑張るとのことで、主にコーチングを担当した理事長は特に喜んでおり、NPO紙飛行機サイエンスの活動の原動力になっています。



2. 講師招聘による紙飛行機教室

江東区南砂学童保育クラブ 1/7



約20年前、理事長の夫人が江東区の学童保育クラブの職員であったことからの縁で、教室の依頼がありました。教材はSKYFLYERとつかい、小学校の体育館で飛ばしました。対象が低学年でしたので、なかなか上手く飛ばすことは難しかったですが、歓声が湧き上がり、楽しい教室でした。

3. 教材開発

ホンダジェット ペーパーグライダー 再生産 10/30~

2023年に当NPO紙飛行機サイエンスが開発し、米国ホンダ社から認定ライセンスを受けたホンダジェットペーパーグライダーですが、2025年10月30日からのJMSジャパンモビリティショーで、再生産しホンダ社から販売していただきました。ホンダ社からは再生産のためにパッケージの表紙を手直したいという要望でしたので、そこは一任したのですが、当方の著作権表示が欠落していたために申し入れを行い最終版では問題なく対応していただきました。感謝です。



4. 広報活動

論文発表 第30回スカイスポーツシンポジウム(主催日本航空宇宙学会) 12/7

スカイスポーツシンポジウムが東海大学品川キャンパスで開催されました。理事長は25回目の発表になりました。テーマは「垂直上するゴムカタパルト発進によるペーパーグライダーの設計について」でした。シンポジウムでは30年来の友人である紙飛行機デザイナーのアンドリュー・デュアー氏と一年ぶりに再会しました。一年後にこのシンポジウムでの再会を約束しました。主催の米田委員長(帝京大航空宇宙学部教授)からも次年度の発表を期待されています。



テレビ出演 テレビ東京「モヤモヤさまぁ〜ず2」 12/13放映、11/14撮影

工房へいきなり訪問する体での撮影でした。斎藤アナはスチレンの翼を満点で滑空させました。三村さんは何度もチャレンジしてくれました。多くの視聴者に見ていただき嬉しい限りです

